

## 一ディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(276)(HP 収載)

—トリフォノフのショパン、チャイコフスキイ、バーバー—

#### 1. 始めに

前報(275)に引き続き、STAGE+のトリフォノフのショパン、チャイコフスキイ、バーバーの演奏の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のトリフォノフのショパン、チャイコフスキイ、バーバーの演奏を選びました。

トリフォノフが魅せるショパン、チャイコフスキイ、バーバー  
ヴェルビエ音楽祭ライヴ

再配信 2025年7月24日 9:00

ダニール・トリフォノフが、すでに世界ツアーで披露している最新のリサイタル・プログラムを、豪華スターが集うヴェルビエ音楽祭で披露します。プログラムの中心はなんといっても、若きチャイコフスキイが苦心して作曲した野心的な嬰ハ短調のソナタと、かのホロヴィッツが初演を手掛けたサミュエル・バーバーによる魅力的な変ホ短調ソナタ。そこに選りすぐりのショパンのワルツ6曲が挿入されます。最後はチャイコフスキイに帰着し、ミハイル・プレトニョフが編曲した《眠れる森の美女》のハイライトで愉悦に満ちたクライマックスを迎えることでしょう。2025年の同音楽祭のラインナップの中でもとりわけ注目度の高い演奏会を、どうぞお楽しみください。

ソリスト:

ダニール・トリフォノフ (ピアノ)

曲目:

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ ピアノ・ソナタ嬰ハ短調 op. 80 (遺作)

フレデリック・ショパン ワルツ第15番ホ長調 遺作

フレデリック・ショパン ワルツ第12番ヘ短調 op. 70-2

フレデリック・ショパン ワルツ第8番変イ長調 op. 64-3

フレデリック・ショパン ワルツ第6番変ニ長調 op. 64-1 《子犬のワルツ》

フレデリック・ショパン ワルツ第3番イ短調 op. 34-2

フレデリック・ショパン ワルツ第14番ホ短調 遺作

サミュエル・バーバー ピアノ・ソナタ変ホ短調 op. 26

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ 演奏会用組曲《眠れる森の美女》

(ミハイル・プレトニョフによる編曲版)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッキング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回もスイッキングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って適用した LAN iPurifier Pro の電源を iPower2 に交換しています。

今回は、PC の受信から Sonica DAC に送り出して再生しています。

7月 24 日 9:00 からの再配信を試聴しました。

チャイコフスキーのピアノ・ソナタ嬰ハ短調は、チャイコフスキーのピアノ曲自体、ピアノ協奏曲以外に聴く機会があまりなく初めて聴くものです。

ショパンのワルツ 6 曲は、お馴染みの曲もあり、ショパンらしい詩情を湛えています。

バーバーのピアノ・ソナタ変ホ短調は、現代曲のようでキラキラと賑やかな曲です。チャイコフスキーの演奏会用組曲《眠れる森の美女》は、これも初めて聴くもので、バレエ音楽が元になっているようでロマンチックでドラマティックな曲です。

どの曲の演奏もトリフォノフ のピアノは、抑揚、強弱、緩急とりませたフレイジングのトリフォノフ節を聴かせてくれました。

使用されたピアノはヴェルビエ音楽祭のロゴマークと verbierfestival の文字がありましたので、特別に準備されたものかも知れません。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、トリフォノフ の抑揚、強弱、緩急とりませたフレイジングのピアニズムが聴けました。

以上